

<安否確認システム予行練習の実施者数>

東京都作業療法士会:132名

東京都理学療法士協会:122名

東京都言語聴覚士会:66名

⇒3士会とも会員の数%から1割程度

<感想>

～良かった点～

- ・安否情報のみでなく、必要な人的・物的支援の情報を収集できることが良い
- ・安否確認システムの入力は1分程で行えるため、会員の負担が少ない
- ・各士会が全会員に連絡をして安否確認を行うよりも、効率良く情報の収集ができる

～今後の検討点～

- ・今回は広報期間が短かったこともあり、全会員に周知ができていない。そのため、予行練習を行った人数が少ない
- ・安否確認システムの周知を図り、予行練習を定期的に行うことで、災害時に実用的なシステムにしていく
- ・実際の災害時は安否確認システムを使用する余裕がないことや、インターネットが使えないことが考えられるため、安否確認システム以外の方法(Faxや電話、実際に避難所や施設・病院へ行くこと)も並行して考える必要がある
- ・安否確認システムで得た情報(特に被災状況や、必要な人的・物的支援)を関係団体で共有する連絡体制の構築を図る